

# 天地

ネットワーク テーブル 450号

発行：天地シニアネットワーク：2017・6・16

TENT I TODAY		1
会員の広場 <「井伊直虎」の地元> <天地ネットワークテーブル・添付不開の件> <動画コーナー>		2
連載作品		4
随 想	天のわざ、地のはまれー地球を測れ、宇宙をはかれー 27. 大気圧ーヘクトパスカル・絶対温度ーケルビン	伊那 闊歩 4
随 想	地政学について（2）	赤羽 清志 8
旅行記	そうだ京へ行こう・古刹の花物語（23） <洛中の洛外2・平等院（その1）>	大竹 漢洲 11
解 説	般若心経読本（10・最終回）まとめ	藤田 克明 13
講演会	「奈良興福寺文化講座」「新三木会」	17
事務局		18

## TENT I TODAY

将棋の藤井4段、卓球の平野選手（女子）、張本選手（男子）、高校野球の清宮選手など、各界にヤングスーパースターが現れ、話題になっています。最近のニュース、国論を2分するような問題が多いようですが、登場する方々が既製の方ばかりで、将来の展望が見えず心配です。世界は動きが早くなっています。政界の若手のホープといわれる小泉進次郎議員など、慎重になり過ぎているように見えるのですが。

就職戦線も売り手市場のように見えますが、学生に聞くとそうでもないとのこと。先日のクラブの総会で、4年生の半数近くが希望するところに入れないので、就職浪人をすると話していましたので、いささか驚きました。東京電力、東芝の例にみるごとく、企業はいつまでも良いというわけにいかないのだから、看板にとらわれず選ぶ、常に自分の力を付けておく努力があればどこも同じと、機会があると言っているのですが・・・。

このところお葬式、偲ぶ会が続き、落ち着きません。そんな中、高校の同級生から、自分の傘寿の祝いを子供さんたちが発起人となって企画したのでと招待状が来ました。クラシックの演奏会が付いており、大勢集まって有料とのこと。通常は、身内だけでというのが多いようですが・・・。

昨年の「ノモンハン」訪問グループで今夏も中国旅行をするので・・・とお誘いを受けたのですが、健康チェックを優先することにして、不参加にしました。天地シニアネット18年目になります、継続できるか綱渡りしています。

\*\*\*\*\*

## 会員の広場

「井伊直虎」の地元

喜多川 貞男

(29.5.29受信)

NHKの大河ドラマ「井伊直虎」の話は、どんな展開になるのかなと期待して観ていました。当初は歴史の記録に沿って井伊家の話を進めてきたように思いますが、直虎の代の話になると史実は殆ど残っていませんから、架空の物語になってきたというのは予測されることでした。単なるドラマですから何も史実に拘ることはありませんが、些か拍手抜けしていることは否めません。

私自身現在は、ドラマの渦中の地名の中にある老人ホームに住んでいますし、私の母親はドラマで頻繁に出てくる「祝日(ほうだ)」の地が出身地で、現在も従兄弟たちが居住していますから、人ごとではありませんね。そして井伊直虎なる人物がドラマにあるような実在した人物かどうか、異論もあるところです。唯一の史実ではないかとされるドラマにも出てくる徳政令の朱印なるものが「祝日」の地にある神社に残されているのですが、その直虎なる朱印(サイン)が「女・直虎」なるものか、疑わしいと議論されています。

直虎とは、井伊家の家系を継いでいくために戦国時代の当地を支配していた今川氏の家臣が一時的に名乗ったことを今川氏が暗黙のうちに認めていたのではないかということです。女・直虎の話なんて江戸時代になって井伊家が徳川幕府の要人になってから、そのルーツを正当化するためにこじつけた話だと考えてもおかしくはないと思われれます。

井伊家のルーツとなっている「井伊谷(いのや)」の地は、浜名湖奥の山あいであって現在では過疎化されていますが、その中であって「龍潭寺(りょうたんじ)」という臨済宗妙心寺派の寺院は小堀遠州作の庭園などがあり異彩を放っています。当地方には後醍醐天皇の子息である無文禅師が開いた臨済宗方広寺派の本山があって各地の寺院は方広寺一色のところ、井伊家の菩提寺だけが妙心寺派というのも何か違和感もあります。井伊家は江戸時代は彦根の殿様ですから江戸時代の藩主の菩提寺は彦根にありますが、意外なことに東京は世田谷区にある豪徳寺も菩提寺とされています。井伊家の江戸での領地が世田谷区豪徳寺一帯にあったということなど、今では忘れられているかもしれません。

\*\*\*\*\*

### <天地ネットワークテーブル・添付不開の件>

先月来、久崎力さんから、ご指摘をいただき、伊藤英俊さんに説明をお願い

いしました。小生、スキル不足に付ご迷惑をおかけして申し訳ないと思っています。一連のやりとり以下に付しておきましたので、ご覧ください。

### 久崎さんより

テーブル449号有難うございます。相変わらず win.dat でそのままでは開けません。

他の会員の方は問題無いのでしょうか、私の場合他組織から時々 dat メールが来ますが、2, 3回継続すると無視する様になります、即ち見ないとする。折角作成したテーブルを見て頂けないのは残念です。

そこでもお願いですが、他の会員は Dat メールを受信していないのか、受信しても自信で解決しているのか調べたことがありますでしょうか。

2017. 6. 5受信

\*\*\*\*\*

### 津田から久崎さんへ

スキル、音痴で申し訳ありません。他の方からは、添付が無いというご連絡いただくのですが、開けないというご連絡はありません。恐らく、開かないでいるのだと思います。取りあえず、以前、ご教示いただいた、伊藤さんに至急連絡してみますので、少し時間下さい。

2017. 6. 7

### 伊藤英俊さんからのご返事

いつもお世話になっています。10日ほどロサンゼルスに行って一昨晚帰国し昨夜からたまっていたメールを確認し始めたところこのメールを見つけました。

ご質問の件ですが、以前「添付ファイルがあるのに、受信側には添付されていないように見え、ファイルが添付されていない…」という問題がありましたが、これと同様な問題ではないかと思えます。

以前の問題は、送信側のメールソフトが Outlook で、受信側が Outlook 以外のメーラーを使っている場合にしばしば発生し、送信側が添付したファイルの拡張子が「.dat」というファイルに化けるために受信側で認識できないという現象でした。

どこで何故化けるのかはわからず、数年前から世界的に騒がれていたもので、MSも未だに対応していないようです。

「.dat」という拡張子は仕様がユニークに決まっていないために、同じ仕様で送受信する場合以外は認識できない（開けない）という現象になります。久崎さんの環境がわからないのですが、Outlookであるなら問題なく開けるはずなので他のメーラーを使われているのかと思えます。

2017. 6. 13

以上

\*\*\*\*\*

### <動画>コーナー

yaku5151 (小泉)

(6 / 03受信)

皆様お元気にてお過ごしと思います。過日学生時代の仲間と「小江戸」川越を少し歩いてきました。

地元シルバーガイドさんの案内で、普段あまり行かない場所をご案内いただ

き、楽しんで来ました。

熱心な説明を受けましたが、時間が掛かり予約した昼食のお店にまだ遠く蔵造りの街並は駆け足みたいな状態で、余り撮れませんでした。

1) 中院・西光寺 <https://youtu.be/i00RuJoyuFA>

2) 川越大師喜多院 <https://youtu.be/V7m624rKuNE>

3) 蔵造りの街並 <https://youtu.be/iCFCiFfYDg0>

尚、過日送らせて頂きました「昭和記念公園」の中に誤りが！不注意から間違った動画になっていましたので改めて送ります 誠にご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

静かな昭和記念公園 <https://youtu.be/WRubMH1c0GI>

\*\*\*\*\*

## 連載作品

\*\*\*\*\*

天のわざ、地のほまれ

—地球を測れ、宇宙をはかれ—

伊那 闊歩

### 27. 大気圧 — ヘクトパスカル、絶対温度 — ケルビン

今回も前回にひきつづき、水素、酸素、窒素などの気体（ガス）、そしてそれらの混合物である空気の一般的性質について考えたい。19世紀初頭、アヴォガドロが提唱したとおり、この世には分子というものが存在し、途方もない膨大な数の酸素や窒素の分子が集まって空気が作られていることが知られるようになった。「気体は種類によらず気温  $0^{\circ}\text{C}$ 、気圧  $1013.25$  ヘクトパスカル（1気圧）のとき、体積  $22.4$  リットル中に  $6.02214 \times 10^{23}$  個(\*)の気体分子を含む」のであった。しかしここまでのところ、温度や圧力などまだ定義されていない物理量があるので、それらを明確に定義しておきたい。

そこでまず、気圧とパスカルという圧力の単位について、わかっていることから調べていこう。天気予報で日常的に気圧の数値がヘクトパスカルという単位で示されて、たとえば本土に接近する大型で強い台風の中心気圧が  $920$  ヘクトパスカルである、などと報道されて何となくわかったような気がしている。

大気圧について初めて科学的な研究を行ったのは、イタリア=ファエンツァ生まれの科学者エヴァンジェリスタ・トリチェリ（1608-1647）であった。かれは、1641年からガリレオ・ガリレイの弟子となり、視力を失って不自由な自宅軟禁を強いられているガリレイを、その死（1642年）までの1年間助け続けたのであった。

1643年、トリチェリは、1メートルほどの長さの細いガラス管の一方の端を塞ぎ、それに水銀を満たし、開いた方の端を別の水銀を入れた容器に漬けてガラス管を立ててみた。するとガラス管の中の水銀は、水銀容器の方に戻って行き、容器の水銀面から76cmの高さの位置でガラス管の水銀の先端の動きは止まったのだ。高さ76cmの水銀柱ができたのである。トリチェリは大気が容器の水銀面を押しつけ、ガラス管の中の水銀を押し上げている、決してガラス管の上部にできた真空が水銀を吸い上げているのではないと推論したのだ。

ガラス管の断面積を  $1 \text{ cm}^2$  とするとガラス管の中の水銀の重量は

$$\text{水銀の密度} \times \text{水銀柱の高さ} = 13.6 \times 76 = 1033.6 \text{ (グラム/cm}^2\text{)}$$

となる。空気の重さは、地表で  $1 \text{ m}^2$  あたり約10トンにもなるのだ。地上の生物（人間もふくめて）は、想像以上に重い空気に押さえつけられながら、あたかも空気など存在しないかのように何の支障もなく生きているのである。また深海魚は強大な水圧の中でも平気で泳いでいる。つまり、生物の体内の圧力がさいわい外圧と同じだけあるため、圧力の平衡が保たれて圧力など感じることなく生きて行けるのだ。

単位面積あたりに（面に垂直に）働く力を圧力といい、 $1 \text{ m}^2$  あたり1N（ニュートン）の力が働いているとき、この圧力の大きさを1Pa（パスカル）という。大気圧の場合、 $1 \text{ m}^2$  あたりの水銀の重量に換算して10336 kg となるがこれを力の単位ニュートンになおせば、これに重力加速度  $g$  の値をかけて

$$10336 \times 9.80665 = 101362 \text{ N/m}^2 = 101362 \text{ Pa}$$

これが大気圧の値なのであるが、通常大気圧はパスカルの100倍 = ヘクトパスカル（hPa）で表すことが慣例になっていて、理科年表によれば、気温  $15^\circ \text{C}$  のとき次のように与えられている（\*\*）。ここで Hg は水銀の元素記号である。

$$1 \text{ 気圧} = 760 \text{ mm Hg} = 1013.25 \text{ hPa}$$

トリチェリの実験からわかる重要なことがもうひとつあった。それは、ガラス管の先端部分に真空の空間を作ったということである。つまり、ガラス管の水銀柱76cm以上の空間は真空でそこには何もないのだ。この真空をトリチェリの真空とよんでいる。当時はまだアリストテレスにはじまる**真空嫌悪説**が優勢で、この世に真空など存在してはいけないのであった。デカルトでさえ、そこには何かある、目には見えない流体（エーテル）のようなものによって満たされていると主張するのであった。それからまもなく、真空ポンプが発明され、真空の存在が徐々に認識されるようになった（\*\*\*）。

つぎに温度について調べておこう。実は気体が持つエネルギーと気体の温度との間には密接な関係があるのだ。大気圧のもとで、一定量のガスは気温が上がれば膨張することは誰でも経験として知っている。1787年、フランスの物理学者ジャック・シャルル(1746-1823)は、その膨張率を測ってみて、次のような法則を発見したのである。

シャルルの法則：一定圧力のもとで一定量の気体の体積  $V$  は、温度が  $1^\circ \text{C}$  上がるごとに  $0^\circ \text{C}$  のときの体積（これを  $V_0$  とする）の  $1/273$  ずつ増える。

気体の温度を  $t$  としてシャルルの法則を数式にして書けば

$$V = V_0 + V_0 \times \frac{t}{273} = V_0 \times \frac{273+t}{273}$$

となって、体積は常に正であるから、 $273 + t > 0$ 、つまり、 $t > -273^\circ\text{C}$  でなければならない。温度には下限があるのだ。この下限  $-273^\circ\text{C}$  を絶対零度(\*\*\*\*)という。セ氏を目盛りを 273 度ずらして、次のような温度(変数)  $T$

$$T = t + 273$$

を導入し  $T$  で測った温度を絶対温度と名付け、単位記号を  $\text{K}$  (ケルビン) とするのである。 $0^\circ\text{C}$  は  $273\text{K}$  に相当する。以上から、一定圧力のもとでは気体の体積は絶対温度に比例することがわかる。数式によって表現すれば

$$V = V_0 \times \frac{273+t}{273} = \frac{V_0}{273} T$$

となる。

一定量のガスに圧力をかければ縮むことは、昔からよくわかっていた。この縮みかたを精密に測定したのが、英国の科学者ロバート・ボイル(1627-1691)であった。1662年、かれは、すべての気体について成り立つ法則を発見した。

ボイルの法則：一定温度のもとで一定量の気体の体積  $V$  は、圧力  $P$  に反比例する。

同じことであるが、温度が一定ならば気体の体積と圧力の積は一定である、と言い換えることができる： $PV = \text{一定}$ 。ボイルの法則とシャルルの法則は、ひとまとめにして表すことができる。それが次のボイル=シャルルの法則で、ひとまとめにすることにより、温度や圧力一定といった制限を取り除くことができるのだ。

ボイル=シャルルの法則：一定量の気体の体積  $V$  と圧力  $P$  の積は、絶対温度  $T$  に比例する。これは(すこし形を換えて)次のような関係式

$$\frac{PV}{T} = \text{一定}$$

として表現することができる。

それでは地上の標準状態 ( $P = 1.01 \times 10^5 \text{ Pa} = 1 \text{ 気圧}$ ,  $T = 273 \text{ K} = 0^\circ\text{C}$ ) のもとで気体の体積  $V$  を  $22.4 \text{ l}$  (物質質量  $1 \text{ mol}$ ) とし、この一定値の計算をしてみると

$$\frac{PV}{T} = \frac{1.01 \times 10^5 \times 22.4}{273} = 8.31 \times 10^3 \text{ ( Pa } \cdot \text{ l / K } \cdot \text{ mol )}$$

となり、この数値はどんな種類の気体についても同じになるので、物質の気体という状態を特徴づける普遍的な定数と考えられ、これを**気体定数**(記号は  $R$ ) という。定数とはいえ、複雑な組み立て単位 ( $\text{Pa} \cdot \text{l} / \text{K} \cdot \text{mol}$ ) がついている。 $\text{K}$  と  $\text{mol}$  は基本単位であるが、

$$\text{Pa} \cdot \text{l} = (\text{力/面積}) \times \text{体積} = \text{力} \times \text{長さ} = \text{仕事} = \text{J (ジュール)}$$

なので、理科年表によれば、

$$\text{気体定数} = R = 8.31446 \times 10^3 \text{ ( J / K } \cdot \text{ mol )}$$

と記載されている。体積だけを  $1 \text{ mol}$  から  $n \text{ mol}$  に増量すれば ボイル=シャルルの法則は

$$PV = nRT$$

と書いて、気体の圧力( $P$ )、体積( $V$ )、物質質量( $\text{mol}$ )、温度( $T$ )のうち3つが

わかれば、残るひとつの物理量の値がわかる。これを**気体の状態方程式**とよんでいる。 $PV$  はエネルギーの次元を持つ。ゆえに絶対温度  $T$  は気体のもつエネルギーに比例する、つまり絶対温度の値は気体の内部エネルギー量の目安になるのだ。

(\*) 最新の理科年表(2017年版)により、数字の桁数を前回のものよりも上げている。なお水については、セ氏 0 度以下でも圧力を極端に下げれば (611 パスカル以下)、水は凍ることなく蒸発して気体の状態(水蒸気)にすることができる。富士山の頂上では、湯はセ氏約 87 度で沸騰する(水蒸気になる)そうである。

(\*\*) 空気の重量は、人の頭や肩だけにかかってくるのではなく、気圧として身体の表面に平等にかかっている。この原理はパスカルによって解明され、パスカルの原理とよばれている。油圧ポンプはパスカルの原理に基づいて作られている。標高が上がれば気圧が低くなることを解明したのもパスカルである。このパスカルの業績に敬意を表して、圧力の単位はパスカルとすることが決定された。ちなみに下界の気温  $15^{\circ}\text{C}$  のとき富士山頂(標高 3776m)では、気温  $-9.5^{\circ}\text{C}$ 、気圧 637 hPa になっているようだ。ひと昔まえには、気圧の単位としてミリバール(mb)が使われていたが、ミリバールはヘクトパスカルと同じである

(\*\*\*) トリチェリの真空が本当に真空かどうか実証するかわりに、真空ポンプで真空を作ってみたらどうかということが当然考えられる。1654年、ドイツ=マクデブルクの市長オットー・フォン・ゲーリケ(1602-1686)は、直径約 40cm の頑丈な鋼鉄製の半球状の厚鍋を 2 つ作り、動物の皮をパッキンとしてその 2 つを(球状に)合わせ、内部の空気を抜いてみたのである。この全球にかかる大気圧は約 5 トンである。内部に 1 気圧の空気があれば、これを 2 つに引き離すことは容易であるが、中が真空なら分離するのに 5 トンの力を要するのだ。ゲーリケは 16 頭の馬を用意し、これを 8 頭ずつにわけて半球それぞれに鎖をつけて両方から牽かせ、やっとのことで引き離したという。その瞬間、大音響がひびきわたり、実験に立ち会った皇帝や観衆もそうだが、馬たちも棒立ちになって驚いたことであろう。真空パワー(大気圧パワー)の物凄さを実感できた瞬間であった。ゲーリケはロバート・ボイルの協力を得て、さらに高性能の真空ポンプを製造したという。なお、南天にポンプ座という星座があるが、それはゲーリケとボイルの製造した真空ポンプに対してのオマージュであるという。

(\*\*\*\*) 絶対零度の精密な値は(理科年表によれば)  $-273.15^{\circ}\text{C}$  である。宇宙は 138 億年前ビッグバンによって超高温状態からはじまったとされているが、宇宙空間を満たす宇宙マイクロ波背景放射(CMB)の精密測定により、現在 2.725 K (マイナス  $270^{\circ}\text{C}$  以下)にまで冷え切っているのだ。138 億年まえを宇宙 0 年として、宇宙絶対時間  $T$  を定義すれば、宇宙の体積  $V$  はシャルルの法則のアナロジーで  $V = V_0 T / 138$  と書けるのではないかと推察される? ここで  $V_0$  は(宇宙は有限として)現在の宇宙の体積で時間は億年を単位として測るものとする。宇宙の膨張率は  $V_0 / 138$  である。しかしながら、宇宙はそんなに簡単なものではないらしい。

## 8 ロシア

ロシアはモンゴル帝国を継承したランドパワー国家。国土が広すぎるロシアは、アジアとヨーロッパの2正面作戦には対応できない。アヘン戦争とアロー戦争で弱体化した清朝から沿岸州を奪って日本海に進出、日本から千島列島を奪って太平洋進出を図った。シベリアの人口減少が続くロシアにとって、隣国中国の人口圧力は重大な脅威で日本の協力を必要としている。

現在、ウクライナ問題で欧米と対立するロシアに対して、北方領土問題を解決するチャンスであるが、2016.12の日ロ首脳会談では先送りとなった。

2017.4.27 日ロ首脳会議においても領土交渉、平和条約の見通しはついていない。

## 9 ロシアーウクライナ

ロシアにとってウクライナは穀倉地帯。クリミア半島には黒海艦隊の軍港があるから手放せない。アメリカはウクライナをロシアから切り離し、NATOに加盟させようと画策してきた。ウクライナ自身が、東の親ロシア派（ランドパワー派）と西の新欧米派（シーパワー派）に分裂しているのがウクライナ紛争の最大要因。国を分けるのが解決策。プーチンの中央集権的な独裁色が濃い力の源泉は世界最大の核戦力を背景とした強権的外交にある。

米露関係が悪化し中露が接近すると、ユーラシアにランドパワー同盟が生まれ、日本の安全も脅かされる危険がある。2017.3.13 ウクライナに亡命していた元ロシアの下院議員が首都キエフ中心部で白昼射殺された。ウクライナのポロシェンコ大統領は「国家によるテロ」とロシアを非難した。

## 10. 欧州移民問題

欧州移民問題は、中東を植民地支配した負の遺産。60年代の好景気時代、人手不足から中東からの移民を歓迎した。

ソ連の支援で社会主義を進めたアラブ諸国は、経済的に破綻し、欧州への移民を生み出した。欧州諸国は人手不足で移民を受け入れたものの、その後の景気悪化で移民の2世、3世が職を失い、治安が悪化した。移民は制限できるが、難民は受け入れ義務が生ずる。そして両者は区別ができない。欧州の建前である人権思想、難民保護から自縄自縛となっており、本音は受け入れたくないが無理に受け入れざるを得ない。

ヨーロッパ文化の基本は①ユダヤ、キリストの一神教（原罪説）②ギリシャ古典哲学（ヘレニズム）③ローマ法—自由と人権でありイスラム教と



は相容れない。

## 11. イギリスの EU（欧州連合）離脱

ヨーロッパはユーラシア大陸（ランドパワー）の「半島」だが、イギリスはシーパワーである「島」。イギリスとヨーロッパ大陸間にはドーヴァー海峡があり鉄壁防御の役割をはたしている。ロシア、ドイツに攻められない。

イギリスはヨーロッパが統一し強大化されることを恐れ、各国が常に争うように沖合（オフショア）から仕向けてきた（オフショア・バランシング）。国防に金がかからないので、圧倒的な海軍力によって植民地を支配することができた。

しかし第2次大戦後、植民地が独立し、イギリスはそのすべてを失った。EU 結成の目的はドイツの封じ込めであり、イギリスも孤立を捨てて参加したが（1973）、経済的にはドイツに仕切られて来た。

この間、イギリスは金儲けのため中国に接近、AIIB（アジアインフラ投資銀行）に参加した。ドイツが主導する EU への反発、難民受け入れへの抵抗が、イギリスを EU 離脱に走らせた。

2017.3.25 EU ローマ宣言採択。結束を誓ったが、東西問題、南北問題を抱えながら統合深化のあり方を探る。

## 12. イラク、シリア

中東は古代から乾燥地帯でありながら東西交通の要地、常に不安定な政情におかれてきた。

イラクとシリアは本来は同じアラブ人で、オスマン帝国の一部であった。イギリスとフランスがサイクス・ピコ協定（1916）を結んでオスマン帝国を解体し、地政学的条件や宗教に合致しない強引なやり方で、イラク（英側）とシリア（仏側）の国境線が引かれた。

第2次大戦後、イラクとシリアで革命が起こり、新ロシア派のフセインとアサドが政権を握った。

冷戦終結後、中東でのロシアのプレゼンスが低下した。シリアのアサド政権は、中東最後の親ロシア派政権。

アメリカは湾岸戦争、イラク戦争でフセインを打倒、「アラブの春」でアサドを揺さぶったがアサドはロシアの支援で持ちこたえている。プーチンはアサドを守るため IS を空爆した。この混乱に乗じてイスラム過激派 IS が台頭した。アメリカが IS を鎮圧できないのは、イラクの一部が山岳地帯であるからである。

2017.3~4 アメリカ（トランプ大統領）とイラク（アバディ首相）間で、IS からイラク北部モスルを奪還する作戦が最終局面に、イラクはモスルの 8 割を制圧したと言われているが IS は住民を「人間の盾」とする戦術で対抗。

2017.4 アメリカでは政府高官内に一部アサド政権容認論があったが、アサド政権が化学兵器を使用したことに疑いの余地がないとしてシリアを

電撃攻撃（トマホーク 59 発）。ロシアはアメリカを非難。

国境線の引き直しと各民族宗派への大幅な自治権付与が紛争解決への道。

### 13. イラン

イランはロシア・ソ連の南下を阻止する防波堤として、また産油国としてアメリカ、イギリスの支配を受けてきた。イランのナショナリズムは、イスラム・シーア派の思想と結びつき、イラン革命を引き起こした。

アメリカは、サウジなどスンニ派アラブ諸国を支援してイランに敵対させた。イランはアメリカに対抗して核武装を進めてきた。

スンニ派武装組織 IS という共通の敵が現れたため、アメリカはイランに急接近し、制裁を解除した。しかしトランプ政権はイランを「依然としてテロ支援国家の筆頭である」とし、核合意・制裁解除を「過去最悪の取引だ」と非難。

国内にシーア派を抱えているサウジはイランの台頭を警戒。2016.1 サウジ・イランの国交断絶。アメリカとの関係も悪化。

### 14. トルコ

トルコと日本は、近代化の過程で西欧文明を受け入れ、ロシアの脅威を共に受けてきたという地政学的な兄弟国。

第1次大戦でトルコはドイツに付いて敗れ、アラブ地域は英仏支配下に入ったが、本土はアタチュルク（ケマル・パシア）によって守られた。

冷戦中、トルコは NATO の加盟国として、日本は日米安保体制でソ連に対する包囲網の役割を担った。

冷戦終結後、トルコでは、貧富の格差への不満からイスラム回帰への運動が起こり、エルドアン政権が生まれた。

クルド人は、国家を持たない世界最大の少数民族、北シリアに自治国家を建設することを画策しているが、トルコにとってこれを封じ込めることが至上課題。

IS との戦いにおいて、アメリカはクルド人を支援するようになったためトルコとの関係が悪化。2017. 3. 30 ティラーソン米務長官はトルコのエルドアン大統領と会談したが関係改善には至らなかった。

2017. 4. 16 国民投票で改憲を承認、大統領権限を強化した。今後 EU との対立が深まり、シリアへの積極介入など中東の不安要因。

### 15. インド

多民族、多宗教のインドをイギリスが占領し、宗教的対立を煽って分割統治した。イギリスは、植民地インドの防衛のため、アフガニスタンとチベットをロシアに対する防波堤にした。

独立後、イスラム教国パキスタンは、ヒンドゥーの大国インドに対抗してアメリカ、中国と結んだ。

中国のチベット併合、ダライ・ラマ 14 世のインド亡命で中印関係が悪化。インドはソ連と同盟したが、ソ連崩壊後のインドは、アメリカに接近

している。

かつて日本軍はインド独立を支援した。インド、日本はともに国連安保理事会に入りたいので協力できる。

(了)

\*\*\*\*\*

## ＜そうだ京へ行こう・古刹の花物語＞（23）

大竹 漢州

### 洛中の洛外 2・平等院（その1）

奈良の都に秋が訪れ、木々の葉が色づき始める10月末には、毎年国立博物館で正倉院展が開催されます。展示される東大寺の貴重な国宝の品々に興味がそそられます。今年（2015年）は、時期が重なる様に、京都国立博物館で「琳派展」が開催され、奈良・京都への旅の楽しみが倍加された感じでした。正倉院展の内容を書くのが目的はありませんので、詳しい感想は省きます。正倉院展に展示されている品々には、唐朝から遣唐使船運ばれてきた、西域諸地域の仏教用具・工芸品・生活用品も少なくありません。

一方で大和で創られた仏教用具・美術品も多く、当時大和国家で培われた技術力の高さに目を見張ります。正倉院展は毎回超満員で大盛況です。病の旅人にとって、入場まで長蛇の列に並び、入館してから混雑した人々の間から展示品を観るのは、大変な体力の消耗です。しかし疲れを忘れさせてくれる程の感動と満足感が得られます。年年夏の終わりに発表される展示品に興味が高まります。

正倉院展に展示される品々は、年によって異なり、人々の関心も左右されます。一昨年、昨年と比して、今年は残念ながら興味を強く惹きつけた展示品は余り多くありませんでした。展示品を評価する面白いバロメーターがあります。期間中の入場者は平均で30万人にも及びます。この数字を越えると、奈良市内のタクシー稼働率が上がるそうです。“今年は暇だ”と奈良ホテルで乗った運転手が零していました。当たっていました。

正倉院展を後にして、タクシーを東大寺の二月堂に向けてもらいました。「お水取り」のお寺です。病魔に冒されている旅人が信心している寺院の一つです。ご本尊は秘仏の十一面観音菩薩像です。人の悩みを救済してくれる菩薩です。今年の3月の「お水取り」で、大松明の火の粉を頭から浴びた石段下から階段を上がり、本殿の秘仏のご本尊にお参りしました。毎年一度は二月堂の参拝を、心掛けています。

余談です。本殿前は三方が広い舞台で囲まれています。「お水取り」には大松明が広縁を豪快に走ります。大松明を若い僧侶が振り回すと、火の粉が舞台下で特ち受ける善男善女の頭上に容赦無く降りかかります。「お水取り」の正式な名は「修二会」「十一面悔過」で、五穀豊穡と万民快樂を願う儀式です。「お水取り」の大松明が儀式のようにとらえられ勝ちですが、前行・本行を合わせると1カ月にも及ぶ法要です。驚くことに、754年（天平勝宝4年）に始められて以降、一度も欠かしたことの無い法要です。舞台からの眺めは素晴らしく、正面に見えている東大寺の鳩尾の向こう側には、かつて平城京

のあった奈良盆地が広がり、陽を浴びて美しく輝いていました。

予約してある新幹線までまだ時間が充分あります。旅に持参した澤田瞳子著『満つる月の如し・仏師定朝』の冒頭に書き出されている平等院を思い出しました。都合の良いことに奈良と京都との中間に位置しています。悦子と相談して平等院まで足を延ばすことにしました。JR奈良線で平等院駅まで行くことに決め、タクシーでJR奈良駅に向かいました。

余談です。『満つる月の如し・仏師定朝』の作者、澤田瞳子は若い作家です。筆力があり将来を嘱望され、今から女性歴史作家杉本苑子・永井路子に肩を並べると評価されています。今年（2015年）秋には、『若沖』で直木賞候補と成りました。近いうちに受賞することが期待された筆力のある女流作家です。

余談です。旅人は学生の頃からある読書傾向があります。一冊読んで感銘を受けると、その作家の著書を全て読破する傾向があります。しかも蔵書として、今も保存しています。時代別ではありませんが、川端康成・石坂洋次郎・壺井栄・遠藤周作・松本清張・新田次郎・司馬遼太郎・池波正太郎・藤沢周平・宮尾登美子・浅田次郎・池井戸潤・杉本苑子・葉室麟そして最近では澤田瞳子です。

平等院を訪れるのは、最初ではありません。先に参拝した際は、平等院駅から商店街を歩いて向かった記憶が残っています。痛めた足を治療している、悦子の負担を考えてタクシーにしました。大通りから狭い参道に入ると、観光客が急に増えて、道路一杯に溢れる観光客に注意しながら、運転手は徐付して正門に向かいました。

現在の平等院境内の堂宇は決して多くありません。鳳凰堂が唯一の堂宇であると言って過言ではありません。堂宇の前は、池永を中央に配した回游式庭園です。

最盛期の平安時代には、藤原氏歴代の撰関家の贅を尽した堂宇が、競うように立ち並んでいました。しかし、楠木正成と足利軍との戦い、度重なる戦火で全ての堂塔は灰塵に帰し、奇跡的に残った堂宇が、唯一鳳凰堂です。最初に阿弥陀堂として創建された堂宇でした。

鳳凰堂には、法橋定朝が造仏した阿弥陀如来が安置されています。あらゆる堂宇が消滅していく平等院の中で、堂宇が残ったのは奇跡では無く、末法の世界を救うために、釈迦牟尼が浄土から遣わした阿弥陀如来に違いありません。

ここ宇治の地は、平安時代には貴族の別在地でした。『源氏物語』の宇治十帖の舞台にもなりました。今日では、若い女性の憧れの地となっており、途中の参道にも数多くの女性の姿が見られました。物語や小説、ドラマの舞台は昔から変わらず、女性たちの思い入れ処だったのかも知れません。中には大勢の外国人女性たちも混じっていました。

源氏物語の主人公と言われた嵯峨源氏を祖とする左大臣源融の営んだ別荘として始まり、宇多天皇を経て、摂政藤原道長の別荘「宇治殿」となり、道長没後の永承7年（1052年）には子息の関白頼通が、この世に西方極楽浄土の実現を希求して創建した御堂が平等院の始まりでした。開基当初の御堂は、現平等院から北方の宇治川の畔にありました。当初は、阿弥陀如来ではなく、大日如来をご本尊としていました。開祖は園城寺長史明尊です。翌年に開山された堂宇が、阿弥陀如来をご本尊とする「阿弥陀堂」であり、

今日まで存在している「平等院」です。

(この項つづく)

\*\*\*\*\*

般若心経読本 (10・最終回)

藤田 克明

[仏設摩訶 (ぶっせつまか)]

般若波羅蜜多心経 (はんにゃはらみったしんぎょう) 唐三蔵法師玄奘 訳

## あとがき

一

仏教は、本来文字も読めないような人々なども全て救おうという教えですので、仏教者たちは原点に戻り誰にでも分かるように教えを説くことが求められています。しかし現実には、仏教の教えが我々にとってやや難解であることは否めません。それは、そのなかにいろいろな哲学理論があり、しかも信仰や実践が求められているので体験のない者にとっては、実感できないという本質的な違和感があるからだと思います。と同時に普段聞きなれない仏教用語が沢山でてきて、しかも日常我々が使っている意味とズレがあるので、より複雑な感じがします。さらに同一の漢語訳が異なった原語からのものであったり、同一の原語が発音で漢字に置き換えられたり、意味で訳されたりなど極めて込み入っていることも、一歩退 (ひ) いてしまう原因になっていると思われま

二、

このような事情と格闘しながら『般若心経』を読んできましたが、最後に仏教の根本教理について復習してみましょう。

1) 一つは「般若波羅蜜多」についてです。題名ともなっている「般若波羅蜜多」という言葉は仏教全体を貫く 最高の徳 (智慧) として君臨しているキーワードですが、実は仏教では「般若波羅蜜多」と並んでもう一つ「慈悲」という概念を基本徳目としています。

慈悲とは仏がすべての衆生 (しゅじょう) に対し、生死輪廻 (しょうじりんね) の苦から解脱させようとする憐愍 (れんみん・情けをかける) の心をいいます。釈迦仏教では、抜苦与楽 (ばっくよらく) という意味に使われていますが、大乘仏教では菩薩の請願に示されているように、慈悲にもとづく利他行 (りたぎょう) が求められています。さらに大乘仏教では布施を行うときでも、施者も受者も施物もすべて空性であるとき、はじめて功德が生じる (三輪清浄・さんりんしょうじょう という) と教えています。慈悲についての仏教の教訓例示は各經典に述べられていますが、現存する最古の經典『法句教・ほっくきょう』(ダンマパダ・dharma-pada) の偈に満載されています。

なお慈悲 (慈愛) とはお返しを要求しない無償の愛のことをいい、布施や寄付、ボランティア活動など純粹の愛を指します。これに対し「物をあげた

のに、お返しに何も持ってこない」など自分の与えた愛に利息をつけて相手から愛を返してもらいたい。十の愛をあげたから、十二の愛を返してもらいたい … という欲望をもった愛を渴愛（かつあい）といいます。

2) もう一つは、釈迦仏教の「無常」観と大乘仏教の「空」観についてです。「仏教は無我にて候」といわれるように、初期仏教では「空」の語より「無我」の語が多く用いられています。その後大乘仏教が現れ「空」という概念を全面的に取り入れましたが、中国の禅宗などでは「無」という語で「無我」や「空」の意味をあらわしています。「無我」は「無常であるから無我である」と説かれているように三法印の最初にある「諸行無常」の概念から導かれています。「色（しき・形あるもの・形態）は無常であり、無常なるものは苦である。したがって苦であるものは無我である」などです。

「無常」という概念は、世の中には固定不変の実体は認識されないという無我説の根拠をなすもので、釈迦仏教ではこの「無常」という教理がベースになっています。世の中が無常であるということは、我々の心が絶えず動いているだけではなく社会も政治経済的に、文化的に常に変化しており自然界にあっても小宇宙としての原子や電子は絶えざる運動を続け、大宇宙としての天体も瞬時も留まってはいません。このように諸行無常は永遠の真実といえます。2500年前のこの教理は、天才でなければ考え付かなかったのではないのでしょうか。驚異の発見です。

とはいうものの、この諸行無常という言葉が何故仏教の根本命題として掲げられたのでしょうか。そこには理論的な理由と実践的な理由があるとされていますが、主な目的はその実践面にあると思われれます。理論的理由は、前述のように無我説の根拠を示すこととしての無常です。他方、実践的理由としては

- ① 宗教心を起こさせるため
- ② 執着心や憍慢心を除くため
- ③ 精進努力を促すためなどが挙げられます。

①の無常とは事態が好くも悪くも変化することを意味していますが、悪く変化した場合は不幸や悲哀を強く感じてしまいます。そこで何とか打開しようという気持ち—反省やより落ちついて物事を考えるなど—が芽生えることが期待できます。すると今まで知られなかった世界が広がることもあり、理想を求める宗教心が芽生えてくるとされます。

このように逆境から順境へと発展変化することも期待されているのが無常です。

②については無常を観察することによって、世の中には何一つ常住不変でないものはない。自分や親しい人も、財産や地位名誉もいつ無くなるか、消失するかも知れない。同じ状態で止まっている「こと」や「もの」は無いのですから、それに執着したり驕っていても、それは意味のないことである。

このように無常という事実を正しく認識するならば、いたずらに執着したり威張ったりすることなく、いつも謙虚な気持ちでいることができるようになり、それが周囲の人々とも融和していくことになると思われます。

③については無常を観ずることによって、社会や人生の動きを正しく知り、寸刻を惜しんで精進努力するようになるとされます。すべての事象は時々刻々生滅変化し、ひとたび過ぎ去ったものは永遠に取り返すことが出来ないと同時に、時々刻々の現在刹那の経験が将来のわれわれの素質や人格を形成する。その現在刹那に全力を傾けて最善の努力をするならば、必ずや理想に向かって進むことができる。無常であるので一瞬一瞬の現在を大切にしなければならない。この意味で無常観はわれわれを絶えざる努力に導くものであるとするものです。このように、無常観は厭世的な面から求道心、宗教心を起こさせることにもなりますが、右のように争いや苦悩の元となる執着や我欲を離れた謙虚な心をもたせ、時間を無駄にせず、時々刻々を充実させ、理想に向かわせるといふ力が出るとされます。

そしてその力は訓練からしか生れないと釈迦は教えています。ものの本質を見つめて、それをどのように受け止めるべきかという釈迦の教えは、現代人にも理解しやすい 教えだと思えます。

3) 仏教を時間軸で見ると、釈迦仏教が誕生したあと次第に部派仏教が誕生してきました。釈迦は世の中を「人の認識（人は何をどう観察し、どう感じているか）」を基準とした世界観を組み立てましたが、部派仏教の人たちは人の心の働きがいかなるものかを解明しようとししました。いかに心を働かせれば苦から離れられ、かつ正しい生き方ができるかを示そうとししました。心を問題にするという点では、今日の心理学に似ているともいえます。

ただし宗教というものは、たんに当たり前のことだけを説くだけでは、インパクトに欠けます。そこで 大乘仏教者の人々は「空」という概念を仏教に持ち込むことによって、人々に大きな衝撃を与えたのです。空の理論のまえには、それまでの仏教教理は役に立たなくなるようにも思えます。ところが『般若心経』では「空」とはどういうことなのかの具体的説明は一切なされていません。そこで「空」についての説明例を二つあげてみます。

或る日、或るとき誰かが私の悪口をいったと聞かされたとき、私はまず「何故?」「どうして」と疑問に思うと同時に、落ち込むでしょう。裏切られたという気を起こすかもしれません。その結果、その人とは今までのような平常心での付き合いが出来なくなるかもしれません。

ところが後日一転、そんなことは無かったということが判明したあとは、急に心が晴れてきます。人間不信など跡形も無く消え失せてしまうでしょう。また仮に、悪口をいったのは事実だとしても冗談めかしていただけで、それを聞き手が変に誤解してしまったということだってあります。本当の悪口など誰も聞いていなかった。ということは悪口は実際に無かったものが、あるように思えただけだ。そして事実でないと分かると、それはたちまちのうちに消え去っていく。これが「ある」ものが「ない（なかった）」という「色不異空（しきふいくう）空不異色（くうふいしき）色即是空（しきそくぜくう）空即是色（くうそくぜしき）」だと思えます。

一方通説としては、空の考えの根本には、釈迦仏教や部派仏教で説かれてきた因果や縁起などの考え方、つまり「ある物が存在しているというとき、その関係性を重視する」という考えが前提になっているとしています。識者によると例えば自分という人間が現に実在しているが、それは自分だけが存在しているのではなく、自分の存在を規定しているのは周囲の他者との関係

であるとしています。自分の名字も受け継がれた符号であり、自分は家族や親族、知人、友人たちに囲まれて生活している。だから自分が行動を起こす場合にも、何かを考える場合にも、何かを感じる場合にもお互いの関係性のなかで種々変化してくる。

つまり自分は一つの実体ではなく、いろいろな関係性のなかの一つの点のようなものである。関係性が変化すれば自分の在り方はすぐ変わっていく。未来の自分がどういったものになるのか、自分でそれを決めることはできない。すべては関係性が決めるもので、一つの存在はすべて関係性に依存していることをさして「空性（くうしょう）」と捉え、それを基盤に 大乘仏教独自の空の哲学を展開していったのだとしています。関係性の概念をもって説明に替えているという見方です。

それらの根拠は龍樹の「およそ縁起したものは空である」（『中論頌（ちゅうろんじゅ）』第二四章第一八頌にある）と思われまゝ。縁起しているものには本来の姿はなく、その時々々の姿は仮の姿に過ぎないので、縁起の理法を別のことばで空と表現したと考えることができると思います。そうだとしたら、大乘仏教は釈迦仏教を超えたことにはならないのではないのでしょうか。

### 三、

学んできたように釈迦仏教と大乘仏教とでは明らかに違いがありますが、釈迦仏教には釈迦仏教にしかできないことがあり、大乘仏教には大乘仏教にしか為し得ない働きがあることも分かりました。単純化すれば、釈迦仏教は自己鍛錬システムとしての性格が強いので、神秘的な救済者の存在を信じることができない人には働きかけてくれます。失意のなかにある人でも、叡智の眼を磨き日々誠実に暮らすことの大切さを教えてくれています。

一方、大乘仏教は出家して特別な修行生活を送らなくても、心がけをよくして普段の生活に励むなら、それが仏になるエネルギーとして利用可能だとしていますので、このゆるやかさが信者の間口を広げたのだと思います。ただし、ある程度の神秘パワーを信じることが必要ですが。いずれにしても、天才釈迦に始まる仏教は、近世西洋哲学の祖といわれるカントと同様、形而上学を排除しており、あくまで日常経験する現象世界や人生を対象にしているところに特徴があります。

そこで説いていることは、述べてきたように「人間は いかにか あるべきか」という社会・人生の理想を見出し、その理想—固定的な考えや行動をしない。したがって何のものにも執着しない—に向かって進んでいくというものです。その心構えや方法論として「慈悲とは、中道とは、縁起とは、無常とは、無我とは、空とは、涅槃とは、修行とは…」という教えを説いているのです。

故に、仏教は人類の眞の平和を希求する人間学であるともいえます。換言すれば、中道の精神こそイデオロギーやドグマ（独断）を離れた仏教の教えなのです。これが仏教の仏教たる所以（ゆえん）だと思います。「中道」の立場とは、善でも悪でも、法でも非法でもなく、それらのすべてのものに対して「執着があってはならない。執着があれば善法も直ちに悪法に転落する」という自由無碍・自律自主的な活作用をいいます。

社会主義や共産主義、資本主義等のイデオロギーに対して、仏教はその何れに対しても全面的に賛否を示さず、「無常・無我・空」の立場から批判し、是々非々の態度をとっています。無常、無我や空の立場に立たないで、自説



や個我にとらわれているイデオロギーを主張しつづける限りは、他と相容れず、そこには必然的に対立抗争が生じます。地球規模でいうならば、イデオロギーにとらわれている限りは国家社会の全面的協調融和も、世界人類の真の平和も得られないでしょう。地球上の紛争の実例は一主として民族や国家間、地域や宗教間の主義、主張および貧富の格差が原因となっており一歴史上枚挙に暇がありません。

仏教が「無常・無我」や「空」を根本理念としているのは、我々個人だけを対象にしているだけでなく、ひいては国家社会の協調融和を念願し、世界人類に真の平和をもたらすことを最終の目的としているのではないのでしょうか。六波羅蜜多の布施という慈悲、即ち「人さまを思いやる心」、この一点だけでも世のあらゆる問題が解決できるような気がします。仏教を一つの生きる杖ないし光として接してみても如何でしょうか…。

(完)

\*\*\*\*\*

## 文化講座・講演会・

\*\*\*\*\*

### 奈良興福寺文化講座 2017年7月20日(木曜日)

午後5時半～6時半：第一講

講演：「運慶展の楽しみ方」

興福寺 執事 辻 明俊

午後6時40分～7時・・・心を静める

午後7時～8時：第二講

連続講話・「奈良・祈り・心」

興福寺 貫首 多川俊映

会場：(学)文化学園 文化服装学院内

受講料：500円 先着200名

(JR新宿駅南口、小田急線、京王線各新宿駅から8分、都営新宿線新宿駅3分)

\*\*\*\*\*

### 第84回 新三木会講演会のご案内

1、日時・会場 2017年7月20日(木)13:00-15:00

如水会館(2F)・スターホール

2、演題 『気骨の自由主義者、石橋湛山回想』 浅野純次氏

経済倶楽部理事 元東洋経済新報社社長

3. 申込・会費 E/Mail: [shinsanmokukai@gmail.com](mailto:shinsanmokukai@gmail.com)

TEL: 047-464-4063

フルネーム：一般・天地シニアネットワーク

会費：2000円 婦人1000円 学生無料

茶話会：15:15-14:20 千円(自由参加)

4. ホームページ

<http://jfn.josuikai.net/circle/shinsanmokukai/>

## 5. 予 告

- 8/17(木) 第 85 回 伊東 隆氏 東京大学名誉教授  
『昭和史片々、近代史と私－歴史学の醍醐味』
- 9/21(木) , 第 86 回 鈴木興太郎氏  
一橋大学・早稲田大学名誉教授  
『血の通った経済学を求めて』

\*\*\*\*\*

## 事 務 局

\*\*\*\*\*

### <事務所までの道のり>

場所：〒110-0016 台東区台東2-21-9 双葉ビル2F202号  
(電話・FAX 番号：03-3837-0290)

御徒町界隈では、JR 山手線・京浜東北線と昭和通りが南北に並行して走っています。

- ① JR 御徒町駅北口を出てすぐ右に折れて、2ブロック直進すると、昭和通りに出ます。右に多慶屋の紫色のビルを見てさらに8ブロックほど直進すると、
- ② 都営大江戸線の新御徒町駅のA2入口が右側にあります。やや進むと(都営大江戸線の新御徒町駅A2入口を出た場合は右に回ると)、佐竹商店街のアーケードがあります。右折してアーケードを7ブロックほど直進すると、佐竹商店街の出口に到達します。そこを右に曲がってしばらく行くと、左側に薄青いビルがあります。(1階は焼肉屋「もとやま」。)そのビルの2階です。

<投稿歓迎><図書のおすすめ依頼>

<プリント版・郵送>

メール版(無料)を月に一回編集してプリント版を発行郵送しています。お申込みくだされば送ります。その際には、実費として1月350円(4200円/年)をいただいておりますのでご了承ください。

<振込先> 三井住友銀行「神田支店」 (普通) 7871532  
(口座名) テンチシニアネットワーク

<配信・郵送、不要の場合はご一報ください、中止いたします。>

天地シニアネットワーク・テーブル・450号

発行：2017年6月16日

：天地シニアネットワーク事務局 (津田 孚人)

〒110-0016 台東区台東2-21-9 双葉ビル2F202号室  
TEL・FAX 03-3837-0290  
E-Mail tenti@mvc.biglobe.ne.jp